



↑子どもたちの質問に丁寧に答える油井さん。

## コスモイル羽咋開館20周年記念 宇宙を伝える

3月20日、宇宙飛行士の油井亀美也さんがコスモイル羽咋で講演し、142日間にわたる国際宇宙ステーション (ISS) での活動を報告しました。油井さんは宇宙でロボットアームを使って日本の輸送船「こうのとりの5号機」を捕まえ、物資を補給しました。ミッション成功の要因は「日本人同士の連携が実を結んだこと」と伝えました。この報告会はコスモイル羽咋開館20周年記念事業の一環として開催され、講演後、油井さんは「コスモイル羽咋という宇宙に関連のある施設で報告会を開くことができたことに感謝しています。ここには宇宙開発に係る本物の機材まであり、NASAで見た物と全く同じ物があることにも驚きました」と笑顔で話してくれました。

## 声 (耳)

読者のみなさんからの声を紹介します。

### 4月1日号への感想

**浅** 間神社で春まつりがありました。藤岡に住んで30年になりますが、初めて訪れてみました。境内はにぎやかでも楽しかったです。だんだん風習もなくなりつつありますが、いつまでもなくなってしまうと寂しいですね。(60代・女性)

藤岡市では各地域のお祭りが盛大に行われています。春を感じる楽しい行事。後継者不足などの問題もあるかと思いますが、ぜひ今後も続いてほしいですね。

**道** 路でガタガタな部分が多すぎます。たまに見られます。工事などで、全体をきれいに補修していただくとありがたいです。

いす。 (60代・男性)

道路にできた穴などは自動車の事故などにつながる危険があります。もし危険箇所を見つけたら土木課までお知らせください。

**仕** 事を辞め、家にいることが多くなりました。広報で講座・教室コーナーを見つけたら、時間が合えば参加するようにしています。受講して感じるの、還暦を迎えても知らないことばかりで、いくつになっても勉強の源です。(60代・女性)

いくつになっても知らないことばかり、まさに「生涯学習」ですね。今後も講座や教室の情報を発信していきますので、時間を見つけてお出掛けください。外出の機会にもなればと思います。

お便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただきます。ご了承ください。

## nostalgic あの頃



年代：昭和41年頃  
写真：市役所保存

**七夕まつり**  
↑50年前、藤岡のまちなかで行われていた七夕祭りの様子。軒先に並ぶ七夕飾りが印象的で、まち並みを華やかに彩っています。また飾り付けをする人たちの楽しそうな様子がうかがえ、にぎわいを見せています。

昔懐かしい写真を募集しています。写真はデータを保存してお返しします。  
問い合わせ 秘書課(☎②2208)



## アダルトサイト請求 にまつわるトラブル

**Q** アダルトサイトに誤って接続したら、登録料を請求されました。どうしたらいいのかわからず、インターネットで解決策を調べたら、いくつかの探偵業者を見つけました。このような探偵業者は信用してもいいのでしょうか。

**A** 探偵業者には「返金請求」「解約交渉」などを行う直接の権限はなく、探偵業法上の届け出を行った正規の業者でも、弁護士法に違反する可能性があります。

甘い言葉で簡単に問題を解決できると思わせる手法です。「トラブルを解決する」「被害金を取り戻す」などの広告や説明をうのみにし、契約しないようにしてください。どうすればいいかわからないときや困った時は消費生活センターに相談してください。

消費生活の相談は消費生活センター

☎☎兼用②1133(来庁相談要予約)  
相談時間 平日午前9時～午後4時

## プレゼント



## サンドブラスト 体験

グラスにサンドブラスト加工で模様を入れます。  
2,000円相当×10人分

日野谷の「土と火の里公園」内にあるガラス工房 Polka。簡単なガラス作りから、専門的な吹きガラスまで多様な体験ができます。

## ガラス工房 Polka polka

藤岡市上日野2240土と火の里公園内  
☎②0388 営業時間/9:00~17:00(月曜定休)  
プレゼントの提供者を募集しています。  
秘書課広報広聴係☎②2208までご連絡ください。

## 編集後記

**広** く皆さんにわがまち藤岡を感じてもらいたい……。そんな想いで日々編集に取り組んでいます。まちで見かけたら声を掛けてください。励みになります。「広報ふじおかいつも読んでるよ」の一言です。(高橋)

**報** 告・連絡・相談で「ほうれんそう」。仕事のコミュニケーションの基本と言われます。私たちは広報紙を通じて行政を発信します。このコミュニケーションをより良いまちづくりにつなげていきます。(黒澤)

**変** わっていく広報紙に皆さんお気づきでしたか? 「皆で作る広報紙」として応募する楽しみを増やしました。まちの皆で作る広報紙に読者である皆さんの声や投稿をお寄せください。(上原)

**更** に広報では昨年の10月からツイッターを始めました。広報をなかなか目にする機会の少ない若い人にも市内の情報を受け取ってもらえるよう、発信しています。(坂本)